

個人投資家向け

会社説明資料

サンワテクノス株式会社
〈東証プライム市場：8137〉

代表取締役会長 田中 裕之

2026年4月11日

1. 会社プロフィール
2. 2026年3月期第3四半期決算概要
3. 中期経営計画（SGP2027）の進捗状況
4. 株主還元

1. 会社プロフィール

2. 2026年3月期第3四半期決算概要

3. 中期経営計画（SGP2027）の進捗状況

4. 株主還元

代表取締役会長

たなか ひろゆき

田中 裕之

- 1957年 生まれ
- 1979年 中央大学 工学部 卒
サンワテクノス株式会社入社
- 2006年 取締役
- 2008年 常務取締役
- 2014年 専務取締役
- 2017年 代表取締役社長
- 2022年 代表取締役会長兼社長
- 2023年 代表取締役会長



1. 会社プロフィール

設立 : 1949年11月4日

資本金 : 37億2,700万円

上場証券取引所 : 東京証券取引所 プライム市場
(証券コード 8137)

拠点数 : サンワテクノス 31拠点
国内グループ会社 3社 6拠点
海外グループ会社 15社 40拠点

従業員数 : 連結 1,085名 単体 615名 (2025年3月31日現在)

年商 : 連結 1,395億円 単体 1,017億円 (2025年3月期)

社会からの評価

6年連続



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

4年連続

NIKKEI
SDGs
経営調査 2025 ★★★★★

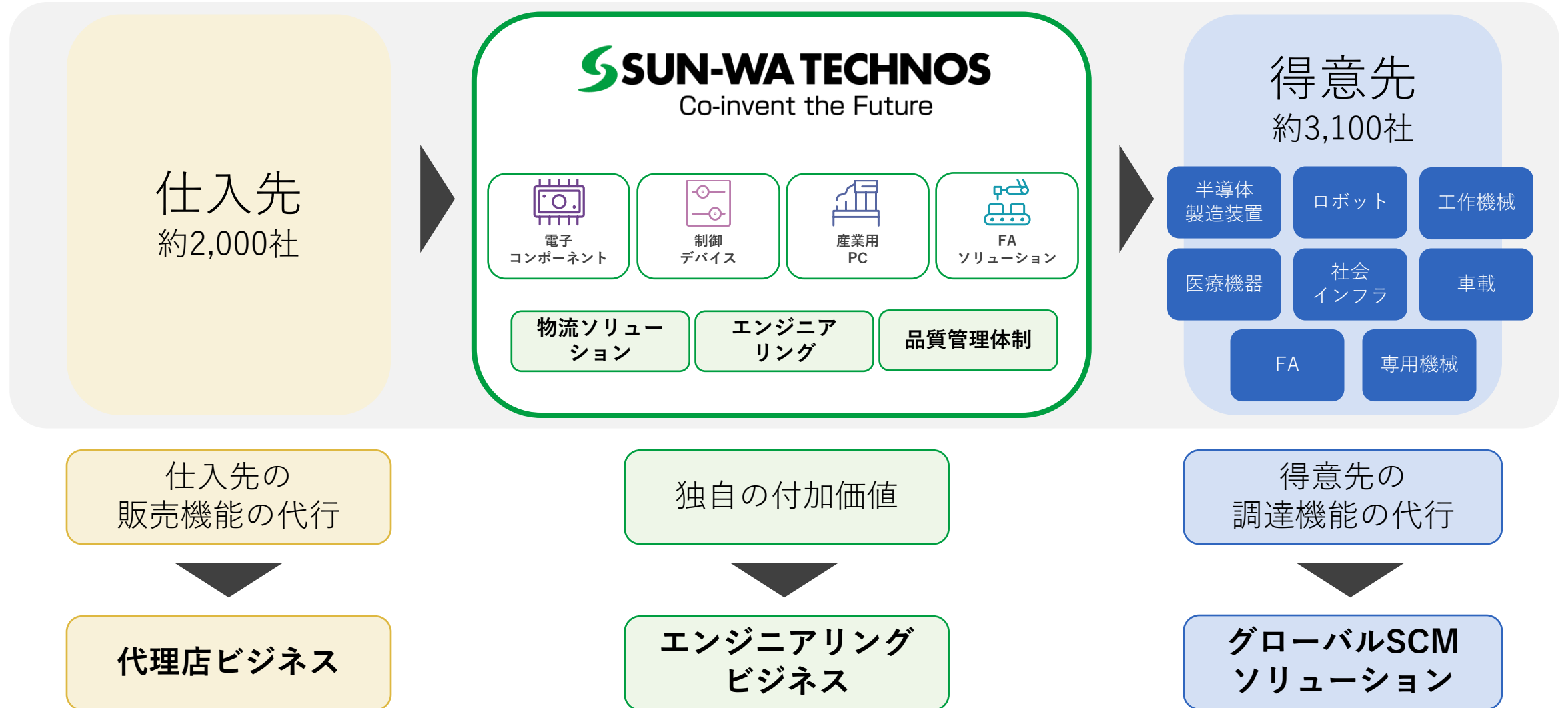
日経サステナブル総合調査
SDGs経営編



「BSテレ東 日経モーニングプラスFT」
CM放映中
月～金曜 朝7時05分～

1. 会社プロフィール ビジネスモデル

当社はグローバルに展開する、産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連の装置・機器・部品を扱う独立系技術商社です。



1. 会社プロフィール ビジネスモデル

代理店ビジネス

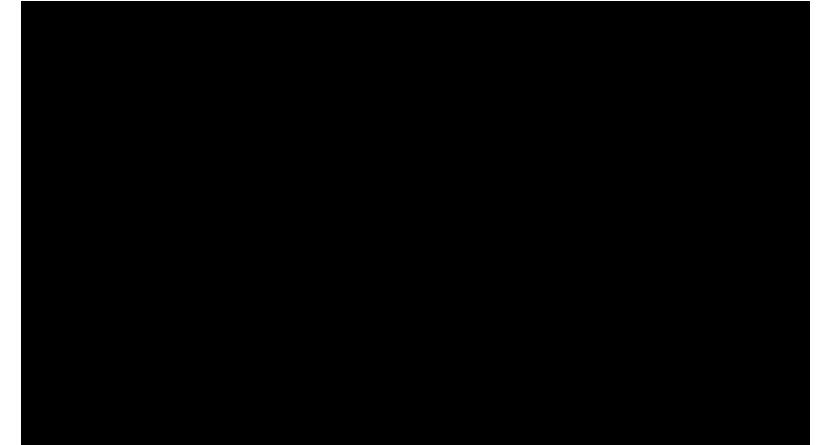
各事業分野の各種装置・機器・部品・サービスの販売
当社は特定のメーカーにとらわれず、幅広い選択肢から
お客様のニーズに合わせた最適な製品・ソリューションを提供します



1. 会社プロフィール ビジネスモデル

エンジニアリング ビジネス

最適な機器や技術を組み合わせてマルチパッケージ化して提供。
最先端システムの導入をサポートすることで、お客様のファクトリーオートメーションをさらに進化させます。



・ロボット
・AR^2 System



AMR



クラウドシステム



画像処理



VRシステム
(遠隔支援)

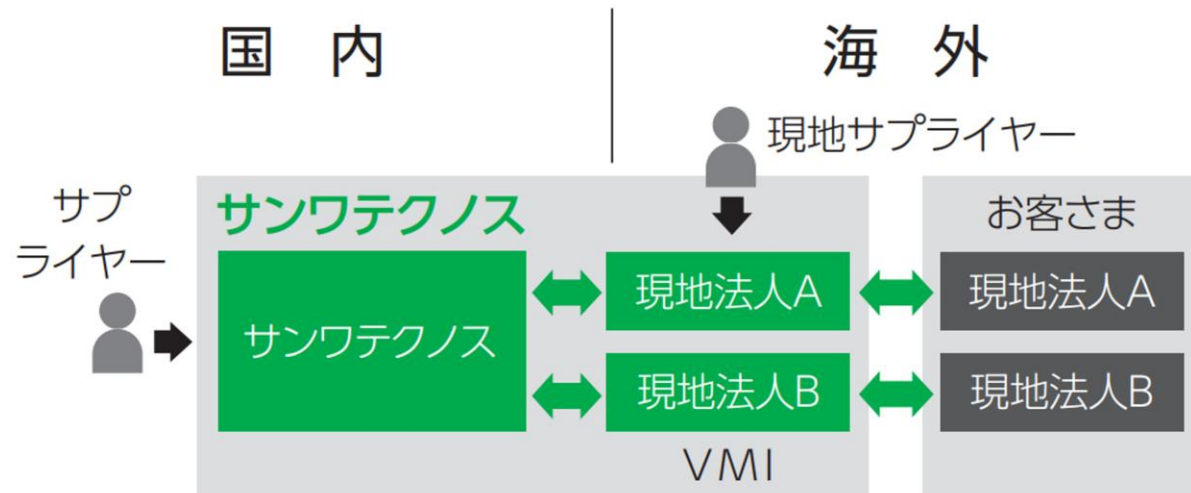
3Dconnect シリーズ
SPP2 AR^2
パレタイズロボットパッケージ



1. 会社プロフィール ビジネスモデル

グローバルSCM ソリューション

世界に広がる「拠点機能とネットワーク」を駆使して、お客様の生産拠点の高度化、競争力向上を実現。ビジネスを成功に導く「グローバル展開」を強力にサポートします。



お客様が個別に調達していた部品を、サンワテクノスが集約することで、調達コストの低減やリードタイム短縮を実現します。

1. 会社プロフィール 暮らしの身近なところでのお役立ち

暮らしの身近なところで活躍、 社会課題の解決に貢献するサンワテクノス

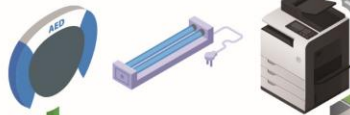
当社が提案する電子部品やメカトロ商材などの製品・ソリューションは世の中の安全・安心・快適・便利を支えています。

自動化が進む未来や社会インフラ、再生可能エネルギー分野などの暮らしの様々なシーンでサンワテクノスは活躍しています。

生活関連商品

健康で安心・安全な暮らしへの貢献

- 心停止の人を救命する「AED」
- LED照明
- OA機器



社会インフラ

社会の機能やサービスを支え、
快適な暮らしに役立つ

- 釣銭を正しく計算するPOS端末
- 安全のための、高速道路表示灯
- 省人化を実現するETC



脱炭素・再生可能エネルギー

地球環境の保全に重要な役割を担う

- 太陽光発電
- 風力発電
- パワーコンディショナー



自動車

安全機能の実現と
利便性の向上に不可欠

- センシング
- コックピット
- EV



工場設備の自動化

生産性の向上、作業負担の軽減を実現する

- 半導体製造装置
- 産業用ロボット
- 工作機械
- 食品工場設備



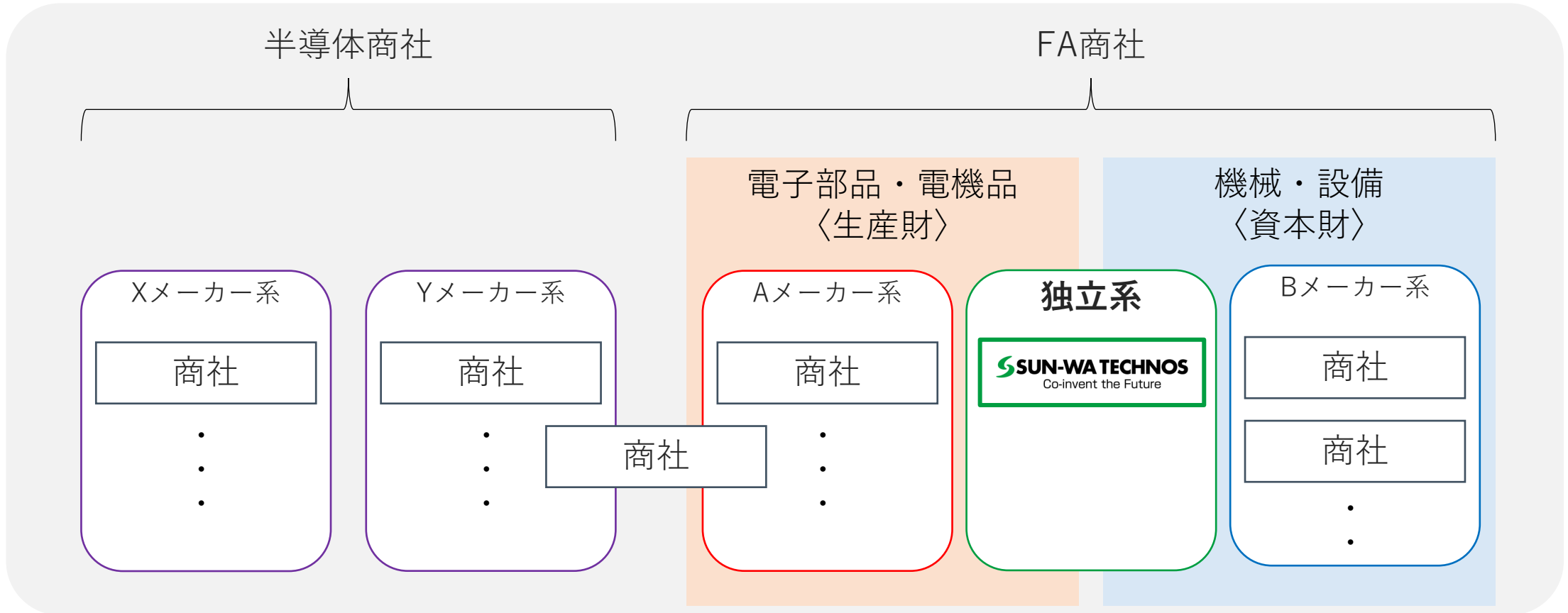
1. **独立系**技術商社

2. **顧客本位**

3. **国内31拠点、海外40拠点**のネットワーク

1. 会社プロフィール サンワテクノスの独自性

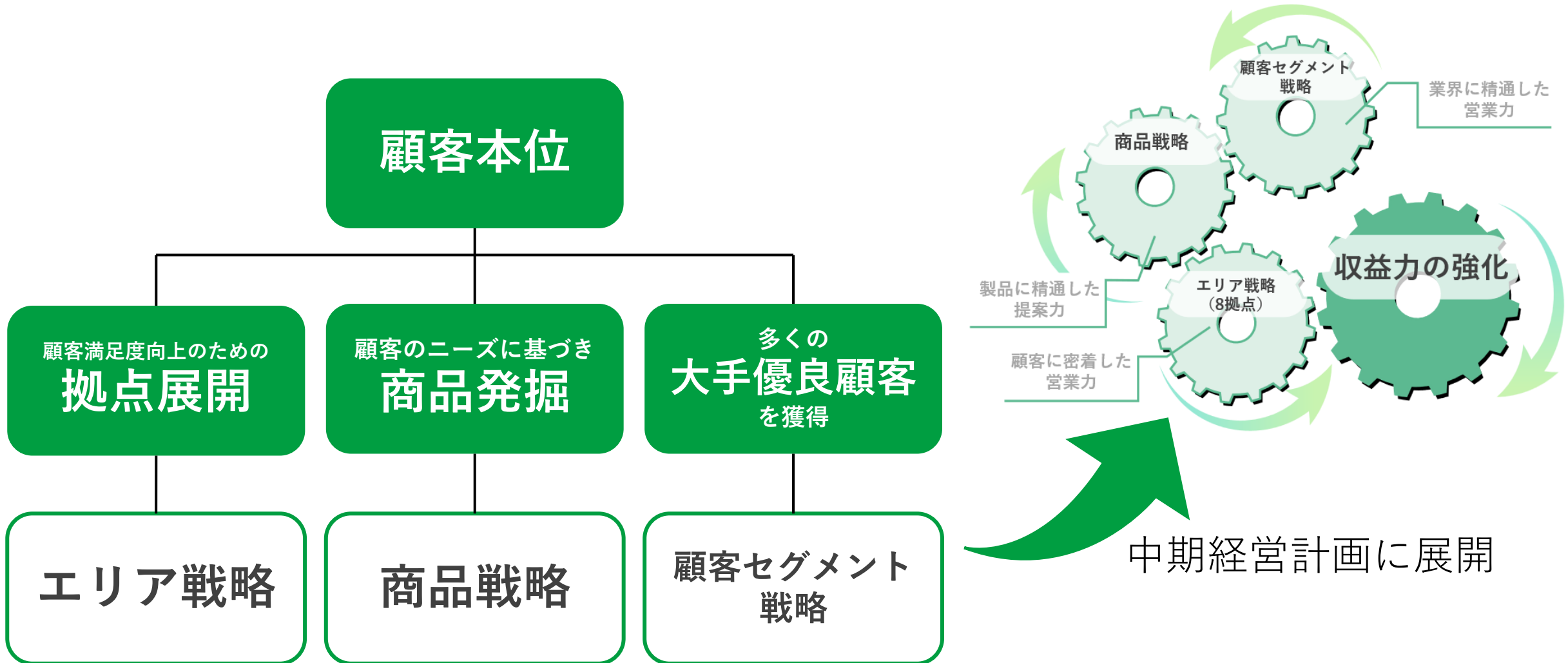
1. 独立系技術商社



FA商社セクターの中で、“独立系”に位置し、
電子部品・電機品から機械・設備までの商品を取り扱うことで、
顧客のニーズに合わせ、**幅広い選択肢から商品を提案**することが可能（仕入先：約2,000社）

1. 会社プロフィール サンワテクノスの独自性

2. 顧客本位



1. 会社プロフィール サンワテクノスの独自性

3. ネットワーク



【スマート営業所】

顧客密着営業を基軸とし、国内・海外に多数拠点を展開。

お客様の近くに存在するベストパートナーを目指し、営業パーソンがお客様の生産拠点各地に駐在。業務オペレーションは支社・営業部から遠隔支援。

- ・ 国内31拠点・海外40拠点のネットワーク
- ・ スマート営業所
- ・ グローバルSCMソリューション

1. 会社プロフィール サンワテクノスに“今”投資していただく理由

〈サンワテクノスに“今”投資していただく理由〉

1. **成長市場を支える、安定した事業基盤**

AI・半導体・自動化投資を背景に、FA需要は中長期で拡大

2. **“独立系”技術商社としての柔軟性**

時代・市場の変化に合わせて柔軟に事業を変革

3. **業績回復による一株当たり利益の向上**

1. 会社プロフィール

2. 2026年3月期第3四半期決算概要

3. 中期経営計画（SGP2027）の進捗状況

4. 株主還元

2. 2026年3月期第3四半期決算概要 業績ハイライト

- ・ M&Aに関する費用の計上等により販管費が増加したが、売上増・売上総利益率の改善により営業利益は前年同期比増益
- ・ 2Qまでは主に日本で為替の影響による押し下げがあったが、3Qで円安が進んだことで解消された

	2025年3月期 第3四半期		2026年3月期 第3四半期		(単位：百万円) 前年比 (%)
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	
売上高	102,333	—	105,018	—	2.6
売上総利益	13,938	13.62	14,632	13.93	5.0
販売費および一般管理費	11,741	11.47	12,288	11.70	4.7
営業利益	2,196	2.15	2,344	2.23	6.7
経常利益	2,484	2.43	2,974	2.83	19.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,833	1.79	2,058	1.96	12.3
EPS (1株当たり四半期純利益) (円)	120.98	—	134.38	—	11.1
為替レート (USD/JPY)	151.29	—	148.23	—	—

2. 2026年3月期第3四半期決算概要 四半期別業績

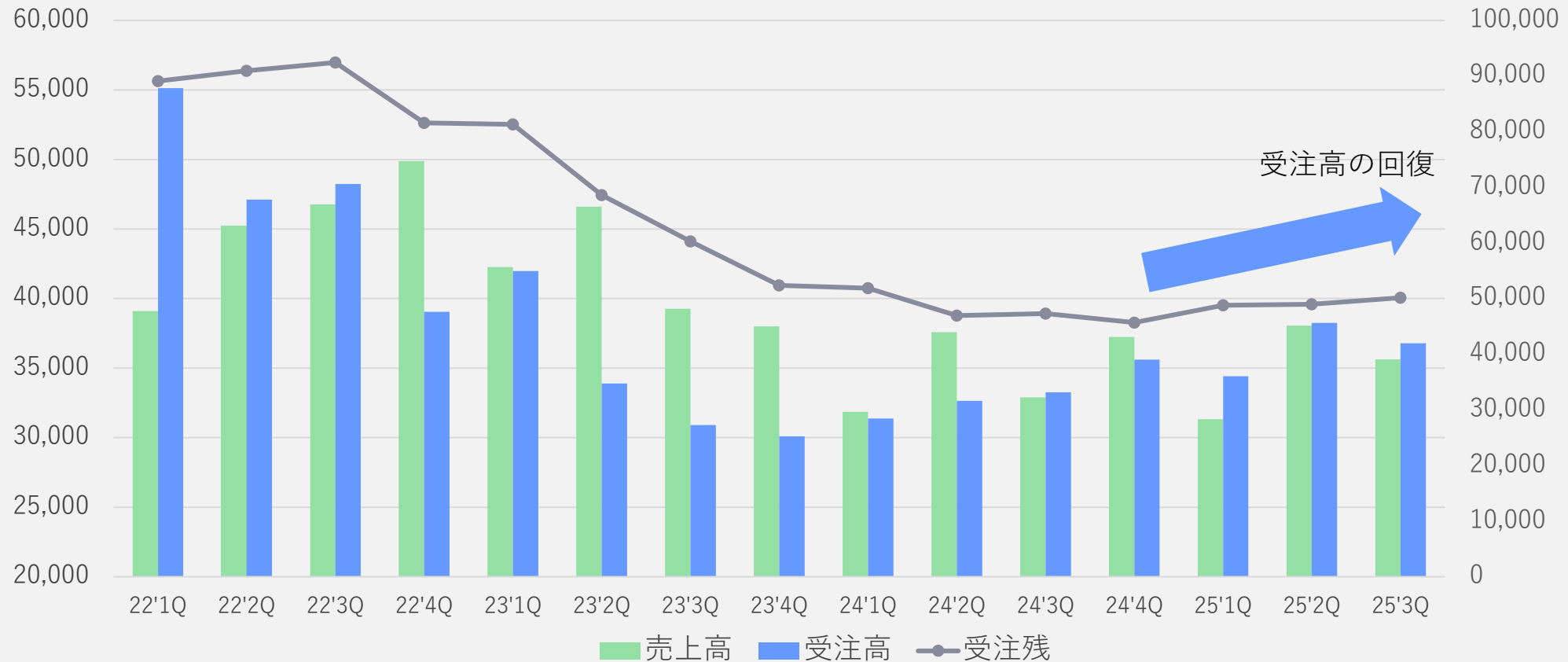
- ・売上高は2四半期連続で、受注高は5四半期連続で前年同期を上回る
- ・受注残は前年度1Q以来に500億円を回復

(単位：百万円)

全社

(売上高・受注高)

(受注残)



2. 2026年3月期第3四半期決算概要 業績予想

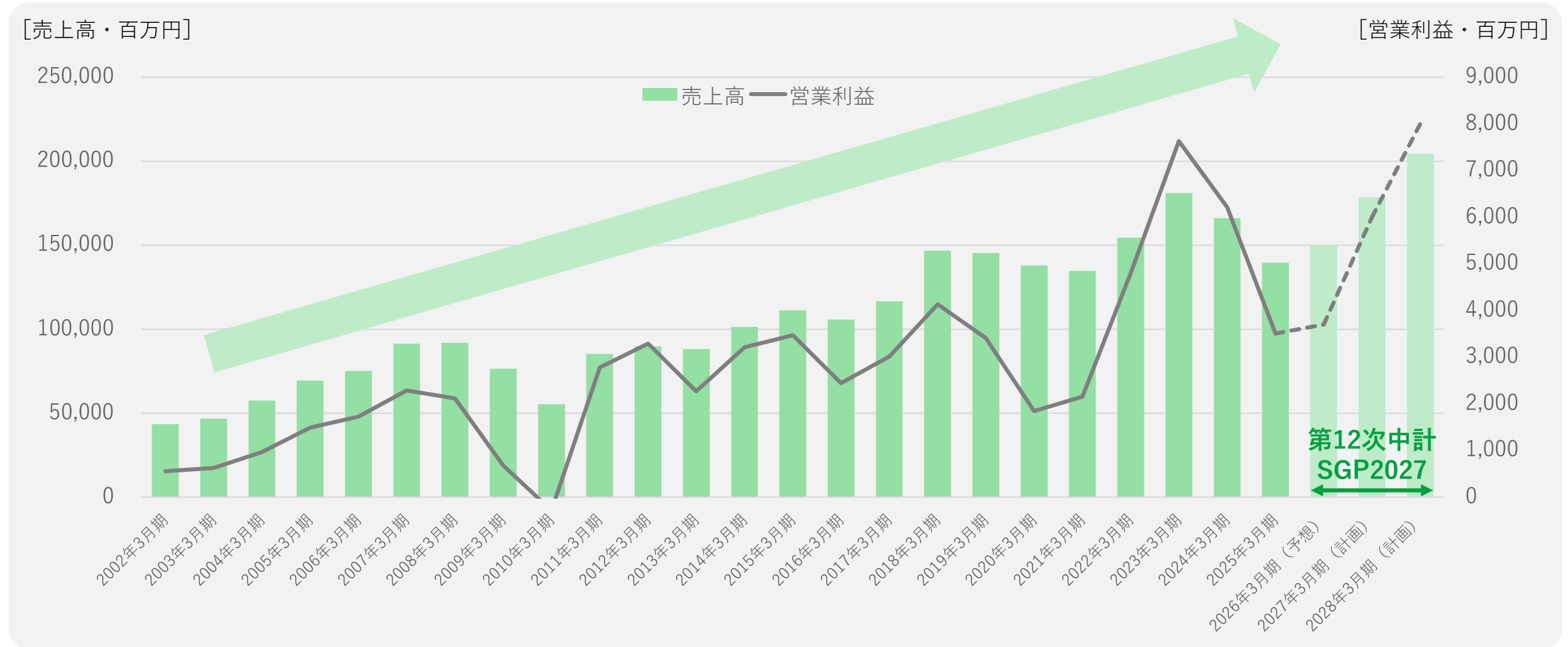
- ・足元では需要の回復が見られるが、販売は当初の計画を下回る見込み
- ・一方で、収益性を意識した取り組みや経費の有効活用を継続したことにより、**各段階利益は上方修正**

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 通期業績予想 (2025年5月9日発表)	2026年3月期 通期業績予想 (今回発表)	前年比 (今回発表予想)	5月発表予想比 (今回発表予想)
売上高	139,581	155,000	150,000	7.5%	△3.2%
営業利益	3,507	3,500	3,700	5.5%	5.7%
経常利益	3,815	3,760	4,500	17.9%	19.7%
親会社株主に帰属する 四半期／当期純利益	2,443	2,610	3,000	22.8%	14.9%
1株当たり 四半期／当期純利益 (円)	161.15	171.68	195.82	—	—

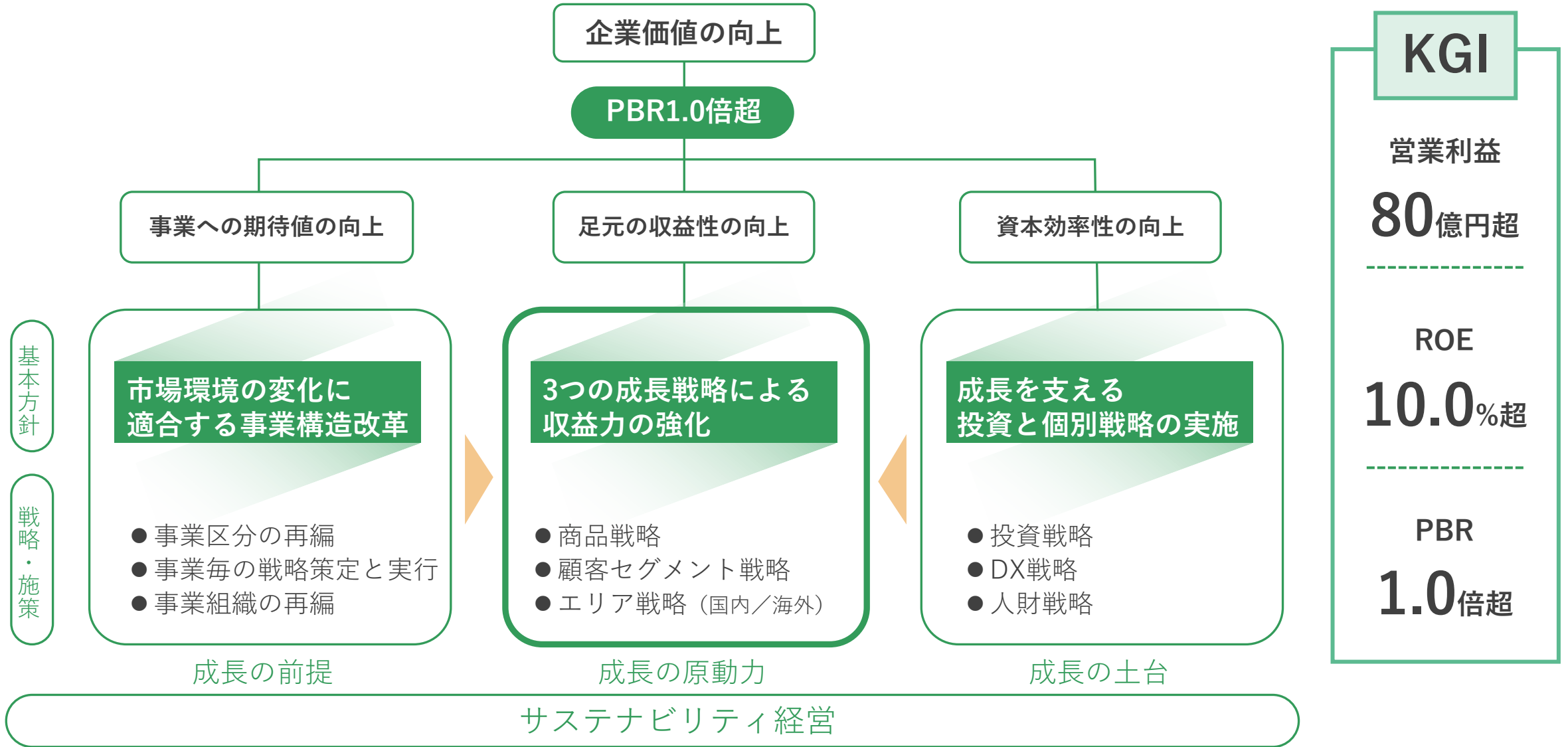
2. 2026年3月期第3四半期決算概要 業績推移

- ・ 中長期で見れば、業績は着実に成長



-
1. 会社プロフィール
 2. 2026年3月期第3四半期決算概要
 3. 中期経営計画（SGP2027）の進捗状況
 4. 株主還元

第12次中期経営計画の骨子・経営目標



3つの成長戦略による収益力の強化



電子コンポーネント
Electronics Components



制御デバイス
Control Devices



産業用PC
Industrial Computing



FAソリューション
FA Solutions

営業本部を4つの部門に再編、部門毎の戦略策定と具体的施策の実行で**商品戦略の回転を加速**

「医療機器」と「社会インフラ」の2セグメントを加え、**顧客セグメント戦略の幅を広げてより力強く回転**

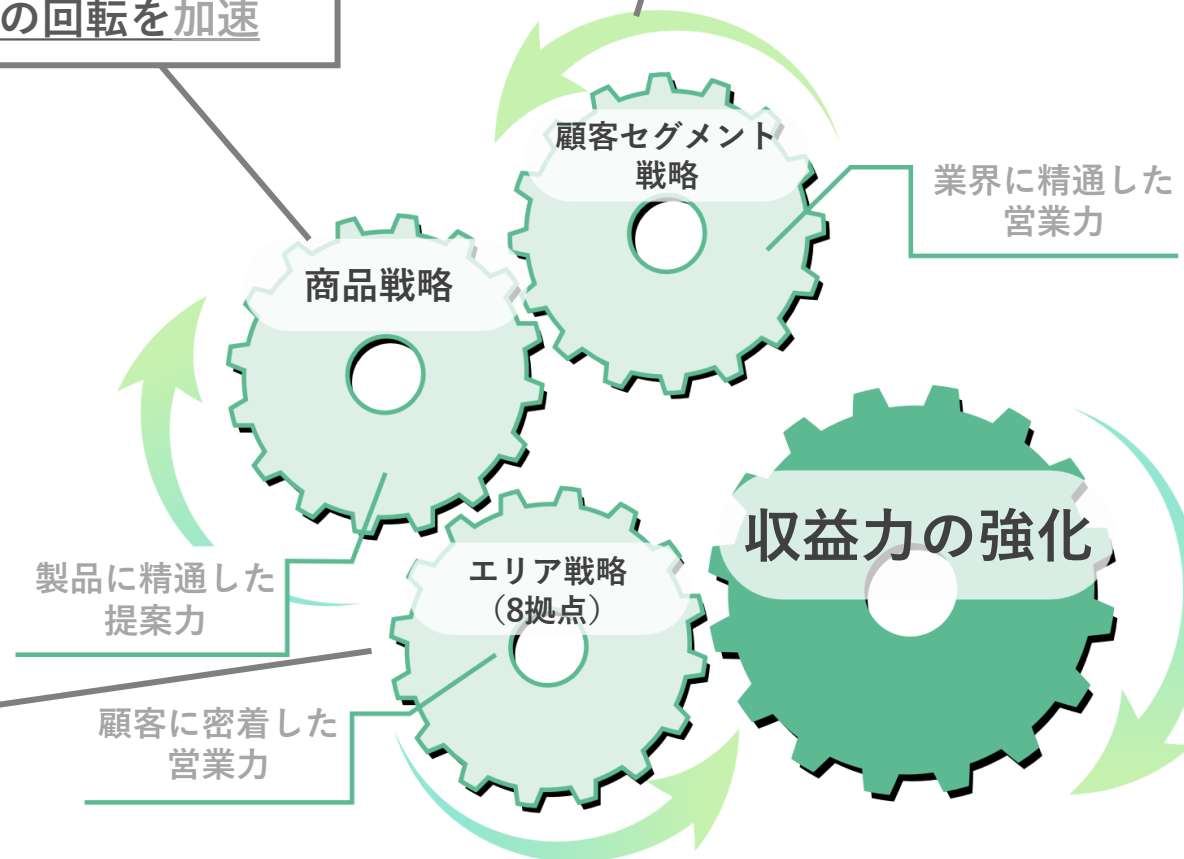
6セグメント → 8セグメント

エリアの
完全掌握

5支社
(国内30拠点)

3地域統括
(海外40拠点)

新規開拓顧客の特定と獲得により
エリア内の顧客基盤を強化し、
戦略の面積(展開領域)を拡大











KGI

営業利益
80億円超

ROE
10.0%超

PBR
1.0倍超

部門の再編（営業本部を4部門体制へ移行）






部門	定義	定義	主要取扱メーカー
 <p>電子コンポーネント Electronics Components</p>		<p>電子・機構部品及び加工組立された商品を提供する事業</p>	<p>オムロン、ミネベアミツミ、フエニックス・コンタクト、ケル、TDKラムダ、スタンレー電気、ニチコン、オータックス</p>
 <p>制御デバイス Control Devices</p>		<p>産業システムや機械の制御・管理を提供する事業</p>	<p>安川電機、ダイヘン、オムロン、シーメンス</p>
 <p>産業用PC Industrial Computing</p>		<p>産業用PCを活用したハードウェア・ソフトウェアを提供する事業</p>	<p>シーメンス、コンテック、アドバンテック、リコーPFUコンピューティング、東芝、明電舎</p>
 <p>FAソリューション FA Solutions</p>		<p>FA市場での効率化、品質向上ソリューションを提供する事業</p>	<p>安川電機、ダイヘン、デンソーウェーブ、FUJI、三機工業、オムロン、エムテック、フジプレアム</p>

3つの成長戦略（主要取扱メーカーと主要顧客）

商品戦略

主要取扱メーカー

尖った商品の発掘と創出

	電子コンポーネント Electronics Components	オムロン、ミネベアミツミ、フエニックス・コンタクト、ケル、TDKラムダ、スタンレー電気、ニチコン、オータックス
	制御デバイス Control Devices	安川電機、ダイヘン、オムロン、シーメンス
	産業用PC Industrial Computing	シーメンス、コンテック、アドバンテック、リコーPFUコンピューティング、東芝、明電舎
	FAソリューション FA Solutions	安川電機、ダイヘン、デンソーウェーブ、FUJI、三機工業、オムロン、エムテック、フジプレアム
	ソリューション開発	ロボットソリューション、搬送ソリューション、マシンコントロールソリューション

顧客セグメント戦略

主要顧客

競争力強化セグメント

半導体製造装置	SCREEN、KOKUSAI ELECTRIC、キオクシア、ニコン、村田機械、ダイフク、新川
ロボット	安川電機、デンソーウェーブ、ダイヘン、川崎重工業
工作機械	DMG森精機、ヤマザキマザック、オークマ、三菱電機、アマダ、ブラザー工業、コマツNTC

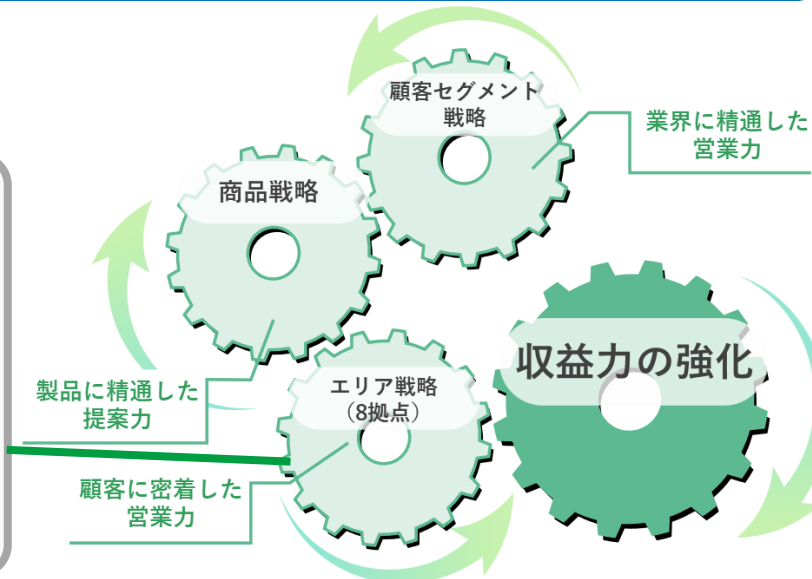
積極的投資セグメント

医療機器	キヤノンメディカル、島津製作所、ベックマン、日機装、ニデック
社会インフラ	NEXCO、日立チャンネル、富士電機、京三製作所、コイト電工、日本信号、大崎電気、エネゲート、アズビル金門
車載	デンソー、スタンレー電気、アドヴィックス、小島プレス、三菱

高効率化セグメント

FAコンポーネント	安川電機、オムロン、三菱電機、富士電機、SMC、グローリー、山洋電気
専用機械	島精機、堀場製作所、住友重機、三菱プレシジョン三浦マニファクチャリング、ピアメカニクス、デュプロ

エリア戦略

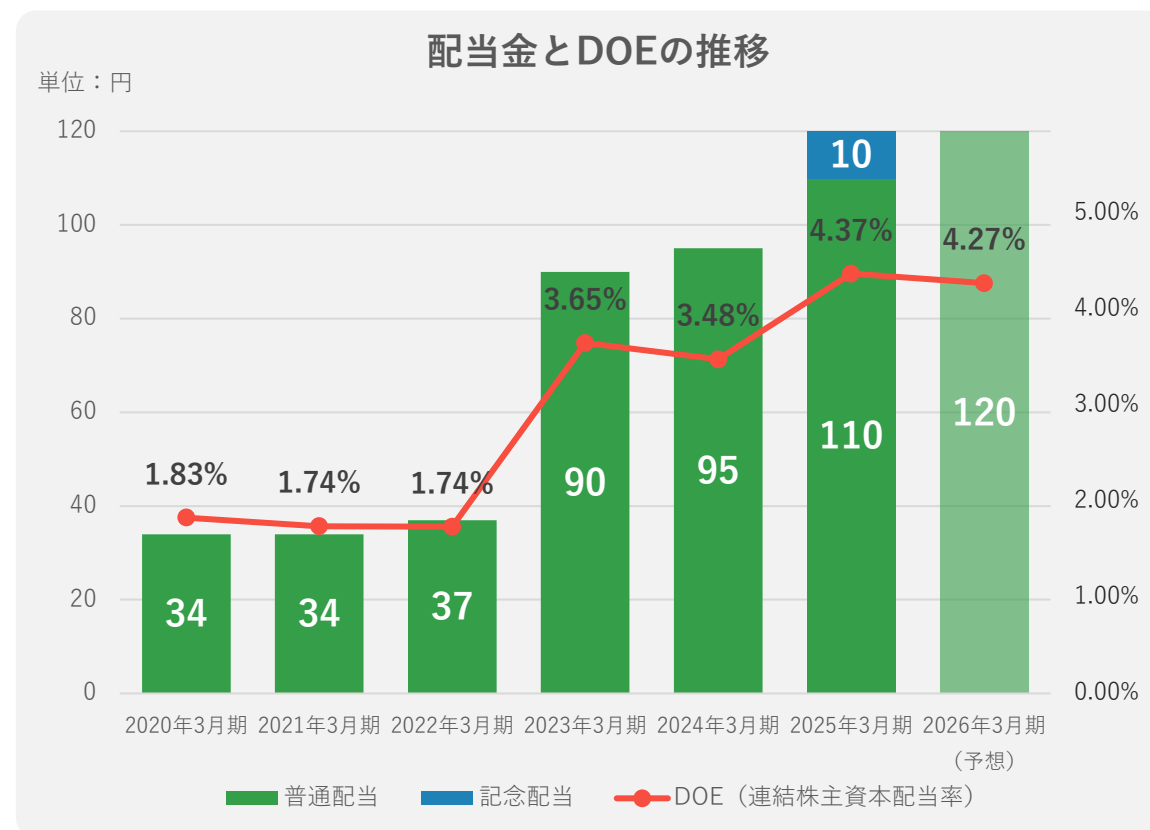
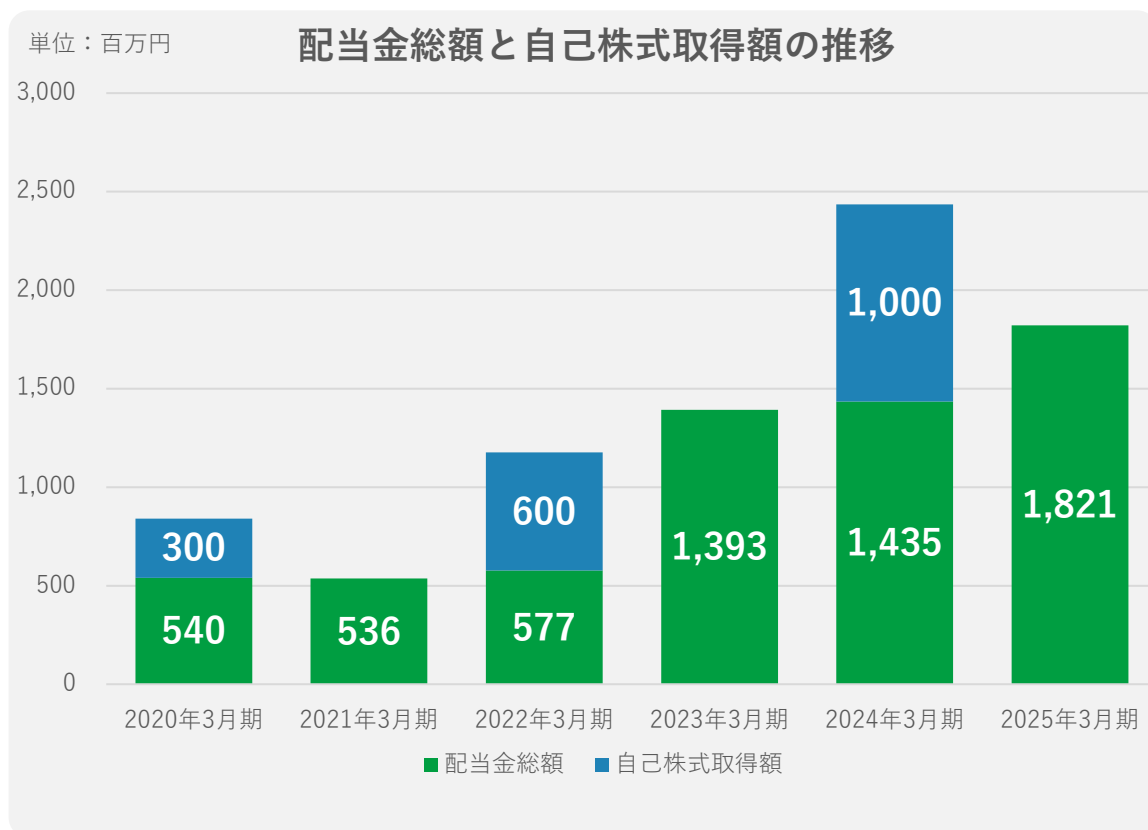


-
1. 会社プロフィール
 2. 2026年3月期第3四半期決算概要
 3. 中期経営計画（SGP2027）の進捗状況
 4. 株主還元

4. 株主還元

株主還元方針

- ・ 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- ・ 毎年の配当金はDOE（連結株主資本配当率）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- ・ 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施



4. 株主還元 株主優待制度について

当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の認知度向上及び当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。当社株式への魅力を一層高め、新たに投資を始める方にも当社株式を保有していただき、また、新NISAの投資枠を柔軟にご活用いただけるよう、対象となる株主様の保有株式数に応じてデジタルギフトを進呈いたします。

株主優待制度の詳細

01

対象となる株主様

3月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された

100株（1単元）以上

保有されている株主様より変更後の制度を適用いたします。

02

株主優待の内容

対象となる株主様の保有株式数に応じて、下記の金額分の**デジタルギフト**を進呈いたします。

保有株式数	優待品目（デジタルギフト）
100株～200株未満	2,000円分
200株以上～400株未満	5,000円分
400株以上～800株未満	10,000円分
800株以上～	20,000円分

03

進呈時期

3月末を基準日として、毎年6月頃に発送予定の「定時株主総会招集ご通知」に「株主優待のご案内」を同封



DIGITAL GIFT

PayPayポイント、dポイント、楽天ポイント
Amazonギフトカード、nanacoギフトなど

4. 株主還元 これまでの取り組み

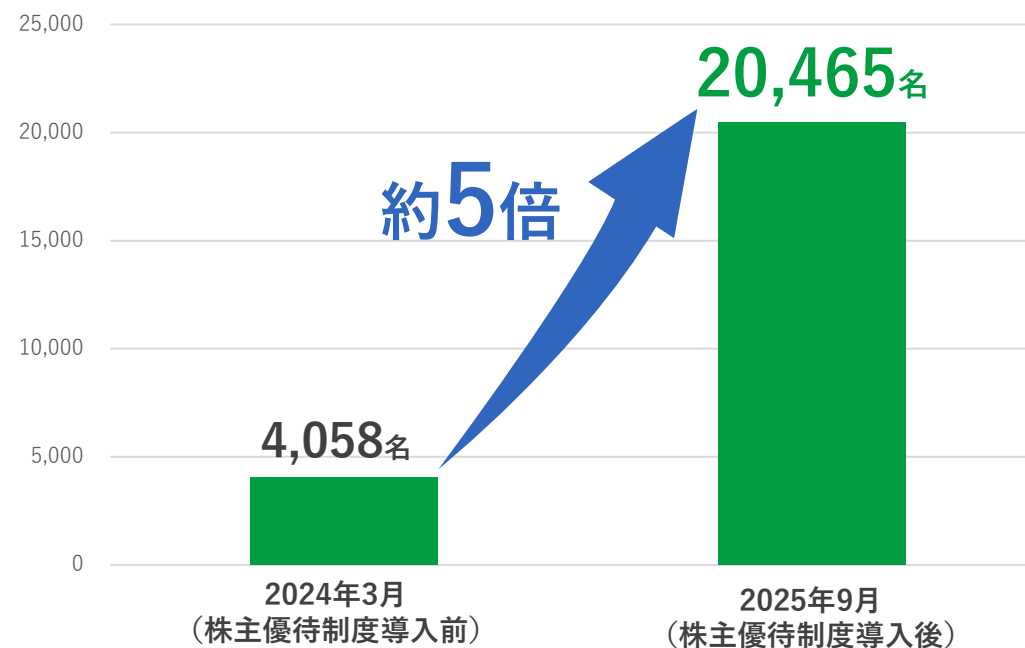
これまでの取り組み

- 2023年1月 株主還元方針の変更
(連結配当性向25%~35%を目標)
- 2023年5月 自己株式取得 (10億円)
- 2024年5月 株主優待制度の導入
75周年記念配当実施を発表
- 2024年10月 株主還元方針の変更
(株主資本配当率: DOE 4.0%以上を目標)
- 2025年5月 株主優待制度の拡充 (1回目)
- 2025年10月 株主優待制度の拡充 (2回目)

株主還元方針の機動的な見直し

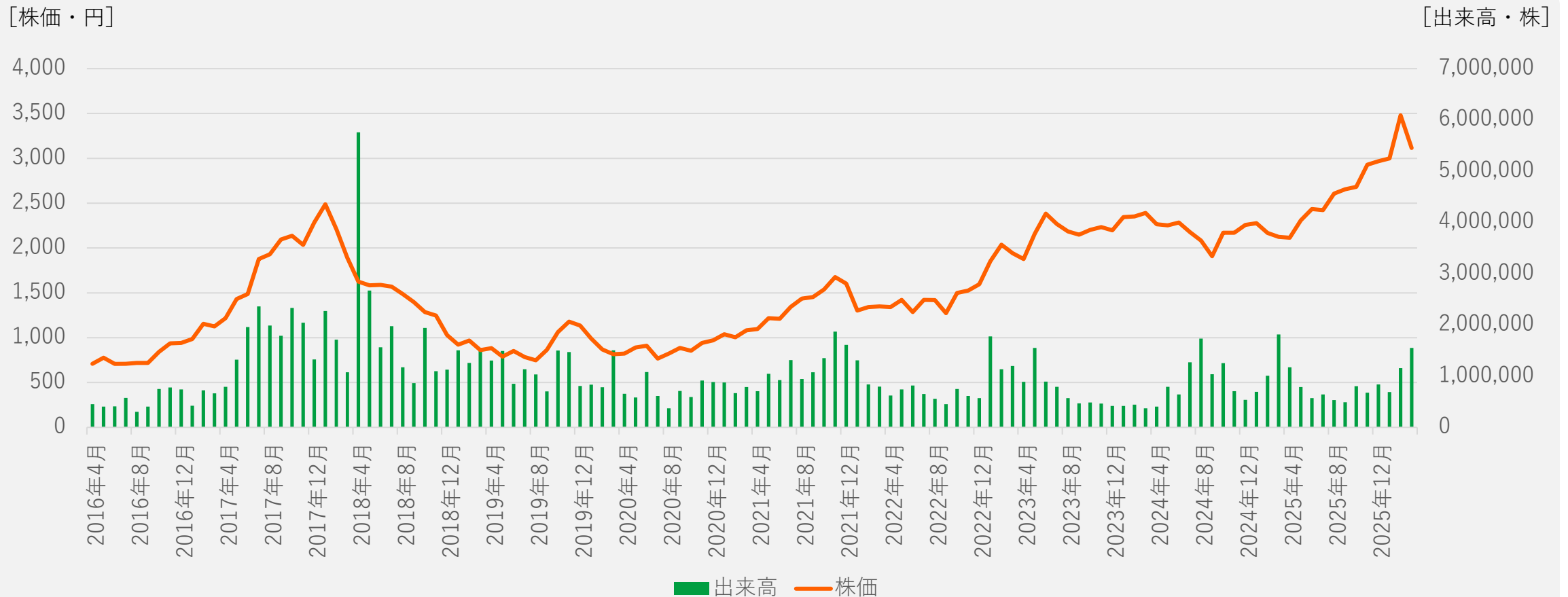


株主数の大幅増加



4. 株主還元 株価推移について

証券コード	市場	株価 (2026/3/31時点)	必要 投資金額	PER (会社予想)	PBR	配当利回り (会社予想)
8137	プライム	3,115円	311,500円	15.9倍	0.95倍	3.85%



お問い合わせ先

経営企画部 企画・IR課

〒104-0031

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F

TEL：03-5202-4011

FAX：03-5202-4054

お問い合わせはHPからでも承ります。

※ご相談窓口はこちら↓



本資料取り扱い上の注意

- ・本資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。
- ・従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

